

箸荷だいすき

発行/むら芝居と花の里 はせがい

兵庫県多可郡加美町箸荷区 季刊(年4回)

編集/箸荷新聞編集委員会

URL <http://www.haseshow.com>

2003年12月23日発行 VOL.38

秋祭り余興大会 盛り上がる 井戸知事のご訪問

恒例の秋祭り余興大会が10月12日夜、箸荷むらづくり館で開催されました。会場には大勢の区民をはじめ見物客が訪れ、芝居や歌謡ショーを楽しみました。まず、女性たちによる3B体操で幕開け。威勢のいい踊りでスタートしました。続いて、消防団による時代人情喜劇「その後の黄門さま」、ロマンス会の寸劇「わいらの小まいとぎのこと」が行われました。親和会の「歌謡ショー」がちょうど終わるころ、井戸敏三・兵庫県知事が激励に訪問。次の出し物・むら芝居保存会の時代人情劇「母の涙か、雪しぐれ」をご覧いただきました。芝居のあと、舞台には保存会と消防の役者らが勢揃い。舞台に立った井戸知事は、あいさつのあと役者らにインタビュー。井戸知事は刀を持ち、立ち回りを見せるなど、気さくな人柄をアピールしていました。

なお、昨年までは興行社からカツラや衣装を借り化粧もしてもらっていましたが、今年は京都府瑞穂町の劇団から中古のカツラ、衣装など約200点を購入。化粧も同むら芝居保存会や婦人会の女性たちが協力し、手づくりの秋祭りができました。



日本初の「紅茶うどん」が完成 箸荷紅茶の会、やくの麺業KKの共同開発

日本初の「紅茶うどん」が完成。地元の茶葉で紅茶づくりに取り組む加美町箸荷地区の有志約30人でつくる「箸荷紅茶の会」(足立はるみ代表)が、地元の紅茶を使い「紅茶うどん」をつくりこのほど完成しました。朝来郡山東町の製麺業者「やくの麺業株式会社」との共同開発。同紅茶の会からやくの麺業に話をもちかけ、試作を何度も繰り返し完成しました。例のない紅茶うどんに、紅茶の関係者からも注目を集めています。

昨年4月に「箸荷紅茶の会」を発足させ、同年8月に初めて地紅茶「はせがい紅茶」を

商品化しました。これまで無駄にしていた2番茶の有効活用を図ろうと、2番茶による紅茶づくりを発案。今年7月6日に地区挙げて茶摘みを行い、約30キロの生葉を鳥取県名和町の製茶工場に持ち込みました。30キロの生葉は約7キロの紅茶に仕上がり、アルミパック詰めして紅茶が出来上がりました。

今回のうどんには、紅茶の粉末を練り込みました。やくの麵業KKの細見社長によると「何度も試作を繰り返し、やっと完成した。むらづくりに熱心な箸荷地区の要望に少しでも応えたいという気持ちが商品を完成させた。まずまずの仕上がりになっている」と話し、「うちの会社としてもこの商品をアピールしていきたい」としています。

出来上がった「紅茶うどん」のラベルは、「むら芝居と水仙の里」をイメージ。同会が紅茶づくりでアドバイスを受けている鳥取県紅茶の会会長の藤原一輝さん(48)のデザインで、紅茶と統一デザインとしました。各地の地紅茶づくりを広めている藤原さんは「紅茶うどん」について「日本はもちろん、世界初の紅茶うどんの商品化だ。まして、地元の紅茶を使っている点を高く評価したい。紅茶うどんなので、つゆにレモンを加えて味わうと一層おいしくなる」と評価しました。1袋200グラム(2人前)入りで、500円(税別)。加美町の「道の駅・R427かみ」や「ふれっしゅあぐり館」などで販売中。また、ふれっしゅあぐり館で、1杯500円で紅茶うどんが食べられます。問い合わせは、ふれっしゅあぐり館(TEL 0795-33-8210)



箸荷の方には1袋400円(税込み)でお分けします。贈り物や年越しうどん?にどうぞ。足立はるみさん宅か今中孝介宅へ。

箸荷の地酒「お涙頂戴」 1月10日に発売

100本を限定販売 箸荷の方は12月30日から安価で

日本唯一の地米酒で、むら芝居の里をアピール。加美町箸荷地区の「箸荷むら芝居保存会」=今中達治会長はこのほど、むらおこし酒「お涙頂戴」を造りました。地元箸荷産・稲木干しコシヒカリを100パーセント使用した特撰本醸造酒。15年産の新米でつくったもの。同地区ではこれまでに、稲木干しコシヒカリによる純米原酒「かみ芝居」、特撰本醸造酒「お涙頂戴」(いずれも720ml)を販売し、好評を得ています。天日干しコシヒカリを原料とする酒は全国的にも例がなく、正に日本唯一の酒。今回、特別限定100本の発売で、1月10日から町内の酒店で販売します。

町内でも数少なくなった稲木干しの方法でコシヒカリが箸荷地区で1農家のみ栽培されていることに着目。米を長野県松本市の酒造会社に送り商品化しました。

地酒「お涙頂戴」は、原料の米は今中喜重郎さん栽培のコシヒカリを使用。北アルプス槍ヶ岳源流の天然水を使用し、モダンジャズによる「音響醸造」を胎教として製造。稲木干しコシヒカリ、アルプス天然水、音響醸造が絶妙のバランスを生み出しています。ラベルは芝居の「幕」をイメージし、今中喜重郎さんがデザインしました。

保存会は「フルーティーで、女性にも人気のあるお涙頂戴。毎年、まとめ買いをしてくれる常連さんもいるので、お早めにどうぞ。“冷や”でじっくり味わいながら飲んでほしい」と話しています。720ミリリットル入り、1本2500円(税別)。加美町大袋の(有)大江商店 0795-36-0057で販売します。

箸荷の方には1本2000円(税込み)でお分けします。贈り物にどうぞ。
12月30日に入荷します。今中孝介宅へ。

景観形成支援事業の来年度要望

1月20日までに隣保長さんへ

箸荷地区が平成12年12月に「景観むらづくり協定」を結んだことにより、平成13年度から兵庫県の「景観形成支援事業」の対象地区となりました。これは、箸荷の基準に基づいて建物を建築したり、屋根の葺き替え、塀など外観部分の改修をした場合に県からその費用に対して補助金が出るものです。

平成16年度(平成16年4月～平成17年3月までに完成分)に事業を予定されている方は、**1月20日(火)までに各隣保長さんへ**ご連絡をお願いします。計画されている事業の概要、予定事業費、着工・完成予定時期などをお知らせください。

景観形成支援事業

補助率は1/4で、補助対象金額は建物等の外観部分の工事費です。

補助限度額は75万円となっていますが、県内の要望数、事業費などにより、満額出ないことがあります。

あくまでも「美しい景観を守る」ことが目的であり、補助金をもらうためにやるものではありません。

補助金が毎年限られており、県内で要望がたくさんあった場合などは、補助金が出ないことがあります。また、兵庫県の審査により補助金が決定されるので、補助金が出ない場合はご了承願います。

建物等の条件

箸荷の景観形成基準に合った構造、色彩であること。

箸荷むらづくり委員会に事前に相談し、建物等の概要を説明すること。

(助成金額) 同一敷地内の対象工事については、750千円(既に助成金の交付を受けている場合は、750千円から交付を受けた助成金の額を控除した額)を限度とする。		
助成対象費用	助成率	助成限度額
1. 建築物の新築、改築、増築、修繕または模様替えに伴う外観の修景に係る工事費	1/4	500千円
2. 門、塀の新設、改修、増設または修繕に伴う外観の修景に係る工事費	1/4	250千円
3. その他、景観形成において必要と認められる、下記工事の外観の修景に係る工事費 (1)かき、柵の新設、改修、増設および修繕 (2)対象建築物の敷地に存する石垣、擁壁、その他工作物の新設、改修、増設または修繕 (3)その他、一般建築物の修景として認められる工事	1/4	250千円

申請に必要な書類(申請は事業着手の直前にしていただきます)

(申請時)現況写真、業者の見積書、配置図、平面図、立面図など

(完成時)完成写真、業者の請求書、領収書など

問い合わせ 箸荷むらづくり委員会 事務局 今中孝介(TEL/FAX 36-0707)

むらづくり委員会・むら芝居保存会の予定

1月21日(水)19:00 澤先生を囲んで

1月21日(水)19:00~21:00、箸荷むらづくり館で、むらづくり委員会とむら芝居保存会の会議を開催します。景観・むらづくりアドバイザーの澤一寛(かずひろ)先生をお招きし、来年度の事業計画などを相談します。委員の方、またむら芝居サミットに参加された皆さん、ご出席をよろしくお願いいたします。

はせがいの動き

10/5 道ぶしん。お疲れさまでした。

10/12 地区の秋祭り余興大会。3B体操、各団体の皆さん、楽しい出し物をありがとうございました。

10/13 御頭の神事。今中太茂津さん・今中一行さんから今中規夫さん・今中繁さんに引き継ぎ。

11/9 権現さんの御頭。今中政和さん・今中大祐さんから今中康隆さん・今中浩善さんに引き継ぎ。

12/14 花壇に葉ボタンの植え替えと、杉原川堤防に桜の苗木を植栽。早朝からご苦労さまでした。

視察来村

10/28 新潟県新津市農政対策協議会(13人)

11/29 姫路市別所町北宿地区まちづくり協議会(40人)

11/30 神戸市真野ふれあいのまちづくり協議会(40人)

12/5 播磨町社会教育委員(13人)

テレビ放映のお知らせ

井戸・兵庫県知事と文化庁長官の新春対談で、箸荷地区のむら芝居が紹介されます。

1月1日(祝) 12:00~13:00

サンテレビの予定です。

サンテレビ 「うまいもんテレビ」で紅茶うどんが紹介されます。

1月5日(月) 夜8時~

出演者:大平サブロー・阿部宏美・月亭八光

ゲスト:西川弘志&かのこ

スタジオで紅茶うどんを作って、出演者やゲストの皆さんが食べます。

の・ん・べ・え・編・集・室

早いもので、また正月を迎えることになりました。今年一年いろいろお世話になりました。来年も皆さんにとって良い年でありますように……。